

第7回セミナーを10月22日(土) 13:30~15:30に開催しました。

会場：愛知文教大学 ABUラウンジ

テーマ：探究が創る新たな学び「総合的な学習（探究）について」

講師：愛知淑徳大学 准教授 加藤 智 先生

総合的な学習(探究)についての知見や最新の情報をわかりやすくご説明いただきました。今求められている「これからの教育」「『育む』授業」は学び合う学び研究所の理念に沿う内容でもあり、あらためて総合(探究)の時間の重要性を確認することができました。「理想の姿」を見えるようにすることがポイントと感じました。

SDGsとの関連性や考えるための技法と思考ツールもわかりやすく教えていただき、今後の仕事に活かすことができそうです。

ワークショップでは若手現職の先生とベテランの先生方が一緒に「学校づくり」をテーマに考えたり、意見を出し合ったりすることができ楽しかったです。

ご多用の加藤先生にはお越しいただき、お話を伺うことができたいへん有益でした。総合や探究の時間をどのように活用するかで、学校の魅力が大きく変わるように感じました。ありがとうございました。

セミナーの学びで重要だと思ったことは、課題の捉え方です。課題設定が最も大事だと思うがばかり、1テーマに1課題、先に課題を作らせることばかりを考えていました。なかなか課題設定ができなかったのだと思いました。総合的な学習の時間では学習内容を生徒が自己選択、自己決定できることが大事であるとわかりつつも、そこまで生徒ができるようにアイデアを作る環境を整えることができていなかったと思いました。

総合的な学習の時間のカリキュラム作成をしたことがなく、他校の実践されたプログラムを教えてもらいながら、とにかくなぞるようにやってみようと追いかけてきた日々でした。

初めて総合的な学習の時間のワークをしました。ワークをしたことで、1つのテーマについて複数の課題の設定ができること、その課題を組み合わせることで探究のサイクルを2回以上回すことができることが新しい学びでした。

これまで現場では、「体験施設に行く」「ゲストティーチャーに依頼する」1回の日程に合わせるように無理やりな総合的な学習の時間のカリキュラムであり、その1回で終わってしまうカリキュラムでした。

小学校の先生は、テーマに対する複数の課題を事前に用意しておきながらも、児童の思いを引き出しながら探究のサイクルを1つずつ扱い、上手に児童を乗せていくことができているのだなあと思いました。

今回、ウェビングの中に可能性を見出せました。少なくとも探究のサイクルが2つ以上作り出すことができる、あとは課題の設定に対する情報収集の方法です。たった1回の体験施設訪問・ゲストティーチャーに合わせる（これまで全員が同じ内容をしないといけないという考え方に縛られていたと思いました）のでなく、複数の情報収集の方法を生徒のアイデアで実現したいと思いました。生徒に「こんなことをしてもいいの？」と思わせてあげることが大事だと思いました。

セミナーの学びで重要だと思ったことは、学びと接続の鍵は「探究・総合」ということです。

加藤先生ありがとうございました。全国の実践事例をたくさんお伝えくださいました。総合的な学習の時間をすてきな仲間や生徒たちとゼロから創り上げてきた日々を思い出していました。そのとき以来、大人の総合学習と称して、その時々の中でのたのしく協同探究しています。

学びの鍵は探究・協同・対話だと考えています。また、幼保小中高大接続の鍵も同様に思っています。その意味で、加藤先生ご専門の総合と生活科が重要だと思っています。総合そのものも学びが多いのですが、学びには伴走者が必要です。教科の学びにも探究は欠かせません。

カリキュラムマネジメントの視点で、各教科の本質的な学びを探究しつつ総合化するダイナミックな学びができるといいなあと思います。また、学ばせてください。

セミナーの学びで重要だと思ったことは、探究学習の重要性です。グループでのワークショップが有意義でした。グループの方から思いの外難しい課題が設定されたのですが、そのおかげで新しい発見に繋がりました。付け加えると、高い課題の重要性についても再確認できたと思います。

今回のセミナーに参加して、総合的な学習について事例を踏まえ、深く知ることができました。自分の中学時代をふり返ると、方向性も定まらないまま、なんとなく総合を受けていた気がしました。子どもに今足りていない能力、なりたい姿を想像させ、教員がアシストするのが真の総合なのだと思います。そして将来の人材を育成することが、いかに難しいかも知ることができました。

後半ではグループ活動をメインに行いました。教育に携わる先生方の意見はとても貴重で、多くのことから考え、学ぶことができました。

今回のセミナーで曖昧だった総合の形がはっきりしたものになりました。同時に知らないことを知る楽しさも学ぶことができました。学生という立場ながら、参加できたことに感謝します。

講演に加えて、グループワークもあったので、より主体的に楽しく学ぶことができました。貴重なセミナーを開催していただきありがとうございました。